

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成28年3月7日
【会社名】	クロスプラス株式会社
【英訳名】	CROSS PLUS INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山本 大寛
【本店の所在の場所】	名古屋市西区花の木三丁目9番13号
【電話番号】	052-532-2211 (代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 虫鹿 宏
【最寄りの連絡場所】	名古屋市西区花の木三丁目9番13号
【電話番号】	052-532-2211 (代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 虫鹿 宏
【縦覧に供する場所】	クロスプラス株式会社 東京支店 (東京都中央区日本橋浜町三丁目3番2号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日
平成28年3月4日

2. 当該事象の内容

当社及び当社グループは、収益基盤の確立を目指し、製造卸売事業では利益重視の仕組の再構築による収益性の向上に取り組んでまいりました。また、経営の効率化を目的として、㈱ヴェント・インターナショナルの一部事業の譲渡を実施し、同社を平成28年1月31日にて解散しております。

当社は、連結子会社㈱ヴェント・インターナショナルの損失に備えるため、個別決算にて貸倒引当金等繰入額638百万円を営業外費用として計上(連結処理上消去)する見込みです。また、同社の解散に伴い、個別決算にて関係会社整理損失引当金等繰入額300百万円を計上(連結処理上消去)する見込みであり、連結決算において事業整理損353百万円を計上する見込みです。

3. 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年1月期において、下記の営業外費用及び特別損失を計上いたします。

個別

(営業外費用)

貸倒引当金等繰入額 638百万円

(特別損失)

関係会社整理損失引当金等繰入額 300百万円

なお、上記は、連結処理上消去されるため、連結決算に与える影響はございません。

連結

(特別損失)

事業整理損 353百万円

以 上